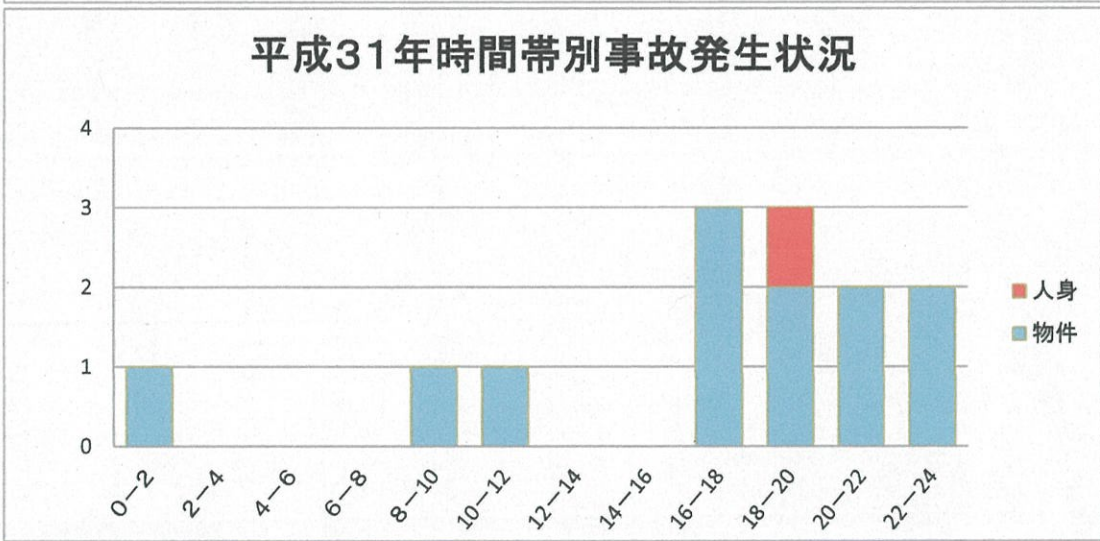
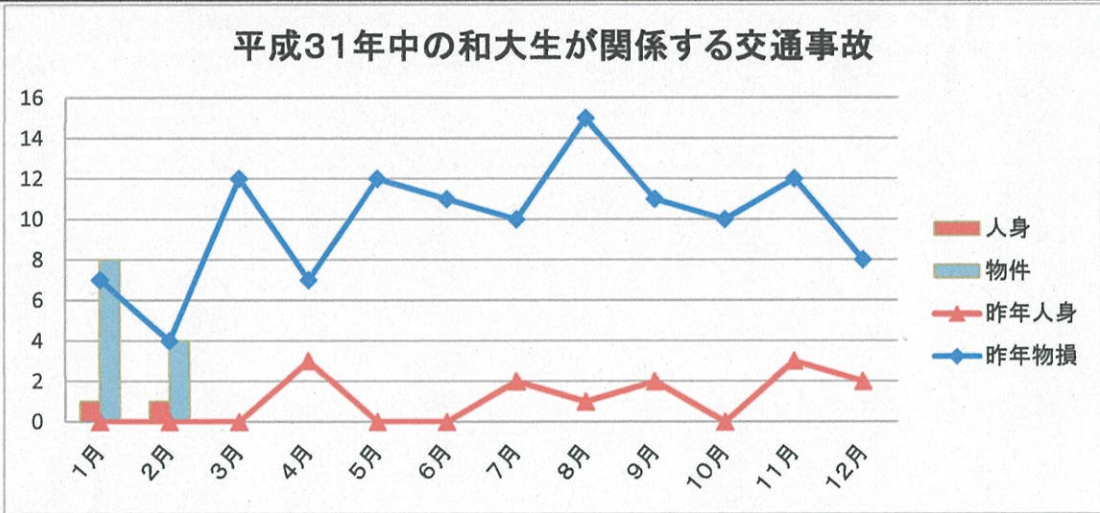


和大学生が当事者となる交通事故件数

1月単月		本年累計		昨年同期		増減率	
人身	物件	人身	物件	人身	物件	人身	物件
1	8	1	8	0	7	100.0%	14.3%

和大学生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(1月) 赤字が和大学生			
車×車	交差点を直進していたところ、右方から直進してきた車と出会い頭に衝突	車×原付	県道を直進中、対向車が右方路外施設に入るため右折し衝突
車×車	県道走行中、前方の車が減速していることに気付くのが遅れ追突	車×車	信号待ち中に後続車が追突
車×車	県道を走行中、前方で信号待ち中の車に気付くのが遅れ追突	原付単独	住宅地内を走行中、三叉路を右折する際、ハンドル操作を誤り転倒
原付単独	アパート駐輪場に進入する際、アクセル操作を誤り柱に衝突	原付×車	カーブを走行中、前方で停止していた車に追突
自転車×原付	急カーブを走行中、対向から走行してきた自転車と正面衝突		



<和歌山北警察署より>

1月中の交通事故は、人身事故1件(前年比+1件)、物件事故8件(前年比+1件)と今年に入り既に1件の人身事故が発生しました。この人身事故は、和大学生運転の原付車が県道を直進中、対向から右折してきた相手車と衝突したもので、対向車が原付車との距離を見誤ったことが主な原因です。

右折と直進の事故は、原付車関連の事故で出会い頭事故に次いで多い事故です。車や原付車で走行中、自分の方が優先であるという意識をもってしまう場面があると思いますが、特に原付車は、自動車に比べ車体が小さく、相手側から速度が遅く感じられるという特性があります。運転中は「(相手が右折してくる)・・・かもしれない」等と意識して運転することが大切です。

昨年は、和大学生が当事者となる事故が増加しました。今年は昨年より1件でも事故を減らせるよう、交通法令を遵守した安全運転を心がけましょう。